

官公庁ダイヤル

◇日光警察署から

4月28日から5月5日までの連休期間に、日光管内では11件の交通事故がありました。その内訳は、死者1名負傷者6名です。事故の原因をみると、雨のためのスリップによる追突が一番多く、車間距離を適当にとらないスピードの出しすぎ、わき見運転という順序になっています。現場の状況をみると安全運転の意識が低かったということを感じます。事故は市内の人よりも市外の人が多く、自家用車がほとんどで、オーナードライバーの安全運転意識が望まれます。

▲日光郵便局から

郵政省で貯金の事故がときどきあり迷惑をかけていましたが、この程企業の機械化と、事故の撲滅のため、貯金、為替の仕事を機械化することになりました。栃木県においては5月7日から実施します。

簡易保険料は、団体で払い込みますと、月7分の割引きがあつて大変お得です。例えば月3000円かける方達が、20名で団体払込みなさる場合、月額60,000円の保険料に対して、月4,200円、年額50,400円も安くなります。この安くなった分は、団体加入のみなんのご相談によって、ご自由にお使いいただきます。

▼日光道路管理事務所から

4月28日から5月5日まで日光道路の交通量は、44,611台で、昨年より7%増でした。金精道路は4月27日開通することができました。昨年は29日に開通したので29日から5月までを比較すると、43年は7,191台、42年は6,441台で10%増となりました。群馬県側の道路改良も進んでいるので、今年の秋には本格的な交通量があると考えています。

▲日光土木事務所から

国道119号線の東武日光駅前から警察署前までの舗装工事は、交通対策のため仮舗装を行ないました。もうしばらくごしんぼうください。

男体山のセツチン雑については、現在山の一番下の部分の堰堤に土砂がいっぱいになっています。43年度の予算でかさあげを設計、実施することになっています。

▼国鉄日光駅から

国鉄の踏切事故は減少傾向を示していますが、重大事故をおこす警報機を無視する無謀事故は増加しています。踏切事故の原因は、安全を確かめないものが77%にのぼっています。踏切で自動車がエンストを起こした場合には、警報装置を使っていただきたいと存じます。扱い方は火災報知機と同じです。

資料 日光市広報委員会
編集 総務課 文書係
印刷 中津印刷所
発行 栃木県日光市中鉢石町999
日光市役所

町の話題



東照宮の上神道に、新しく三十五基の石灯ろうが立てられました。

これは、東照宮三百五十年祭奉斎会が特別記念事業として奉納したもので、家康公誕生の地愛知県岡崎市、岡崎石製品工業協組が製作し、同地の名産「大川石」が使用されています。

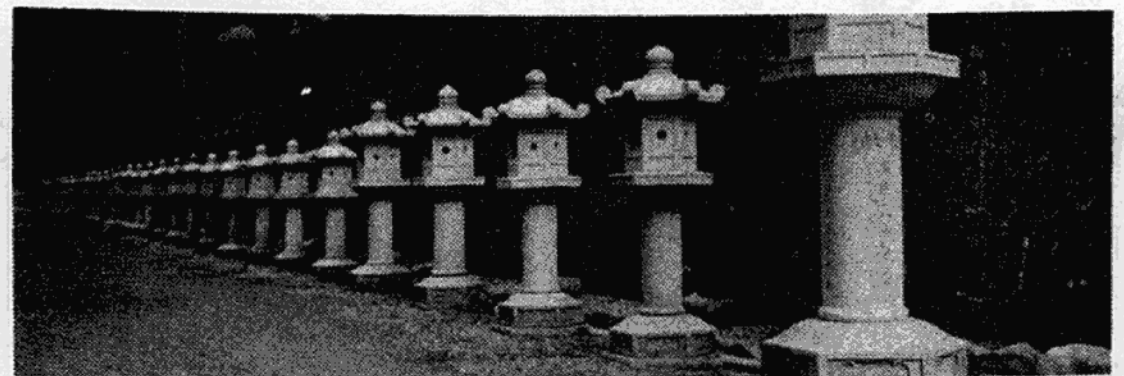
東照宮上神道に

石灯ろう三十五基建立

五月八日、はるばる岡崎市から七台のトラックで運ばれてきた灯ろうは、日光ばやしの歓迎車を先頭に市内をパレード、東照宮表門前広場で引渡式が行なわれました。

東照宮には、將軍家や諸大名の献納などによる石や鉄、唐銅などの灯ろうが百二十一基もありますが、こんなに大量の灯ろうが一度に奉納されたのははじめてのことです。

同宮では春の大祭の初日に当る十七日、三十五基の石灯ろうに一せいに火をともし、おごそかに「火入れ式」を行ないました。



グラフは語る

小売店1店当り
年間販売額と
常時従業者数(41年)

商業統計調査は、二年ごとに全国の商店を調査するもので、ことしも七月一日現在で行なわれるものですが、前回の昭和四十一年調査の結果から、市内の小売店一店当りの年間販売額と常時従業者数をみてみました。年間販売額は四十年七月一日から四十一年六月三十日まで、従業者数は昭和四十一年七月一日現在の数です。

